

中心市街地の停滞に歯止めがかからず

「中心市街地の活性化」の号令で、様々な施策が試みられていますが、効果は見えません。丸井今井、丸ト北村と空きビルが目立ち、丸ト北村の周りは、壁の崩落があるかもしれないとバリケードを張り巡らしている始末です。

丸ト北村の反対側に、のっぽの二本の再開発ビルがあります。分譲マンションと有料老人ホームです。二つのビルには、国と市から合計で10億円以上の補助金がつぎ込まれました。

テナント区画は空きだらけ

このビルの下層階は、テナントスペースですが、入っているのは、もともとあの場所にあった花屋さん、市が去年開設したビジネスサポートセンターだけ。先日まで営業していたお弁当屋さんは、早くも撤退してしまいました。

「入居が進めばお店の利用者も増える」「二階は画期的な医療モールになる」と、進出を期待していた市ですが、すっかり当てが外れた格好です。



鉄道高架で北大通は2車線化?

都心部の再生の有効策を見いだせない市は、鉄道高架事業に望みをかけています。鉄道高架にすれば、大津波の時に都心部の車両はスムーズに郊外に逃げられるので、津波防災にも役立つと説明しています。

そもそも鉄道高架は伊東市長の時に、事業費290億円は捻出できないと凍結していたはずなのに・・・。



しかも、検討が進めば進むほど。「はてな？」と思うことばかり。

①北大通は2車線に縮小。当然、万が一のときは大変な混雑になります。通過車両がスムーズに郊外に逃げられるという説明とは真逆になります。

②大津波のときは、すぐに車を止めて近くのビルに逃げ込むのが基本。これが一番、安全な避難方法なのに、市は通過車両はそのまま、「車で逃げる」とかたくなです。

この二つは、都心部市街地整備特別委員会でも、与党議員から疑問として出されました。また、「これまでも再生策を打ち出せなかった人に、計画作成を任せておいていいのか」などの厳しい意見も出ました。

村上議員は、3月末に千島海溝沖の巨大地震の津波高が発表されることから、鉄道高架にして車が本当に津波から逃げ切れるのか、自動車避難のシミュレーションをやり直すよう求めました。

公開

津波シミュレーション動画

昨年の議会で、津波シミュレーション動画を制作して啓発活動に活用するよう求めた村上議員。村上議員は新たに作成することを求めましたが、この質問をきっかけに、これまで一般公開されていなかった国土技術政策

総合研究所の動画が市のホームページから見ることができるようになりました。

最大規模の津波を想定しておらず、時間も半分ですが、MOO・幣舞橋右岸・北大通の浸水がわかります。

市のホームページから、防災・消防・救急→防災→津波被害→津波の知識とクリックしていくと、見ることができます。



村上かずしげ 20.4.5 通信

発行 日本共産党市議団Tel23-5212